

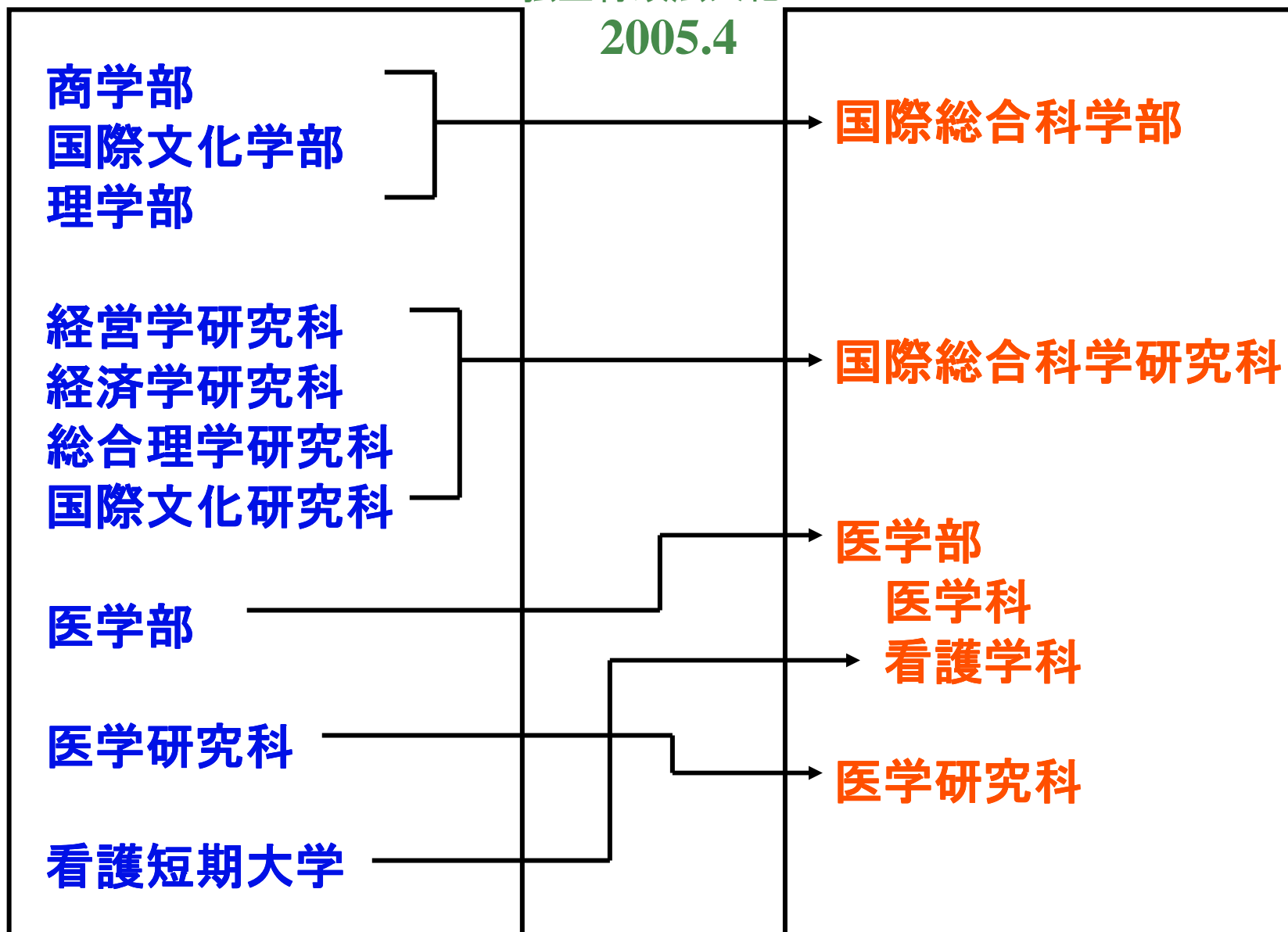
***Academia-Industry
collaboration in YCU***

Yokohama City University

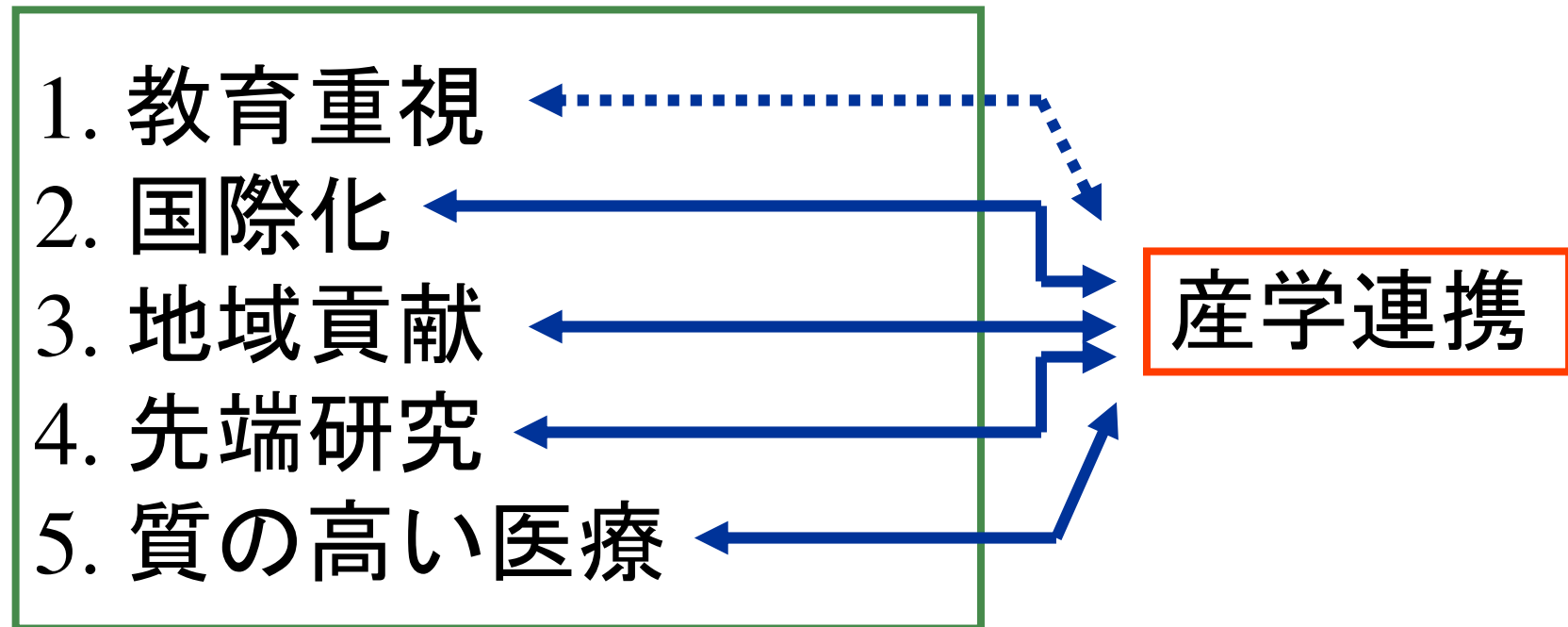
横浜市立大学の組織改革

独立行政法人化

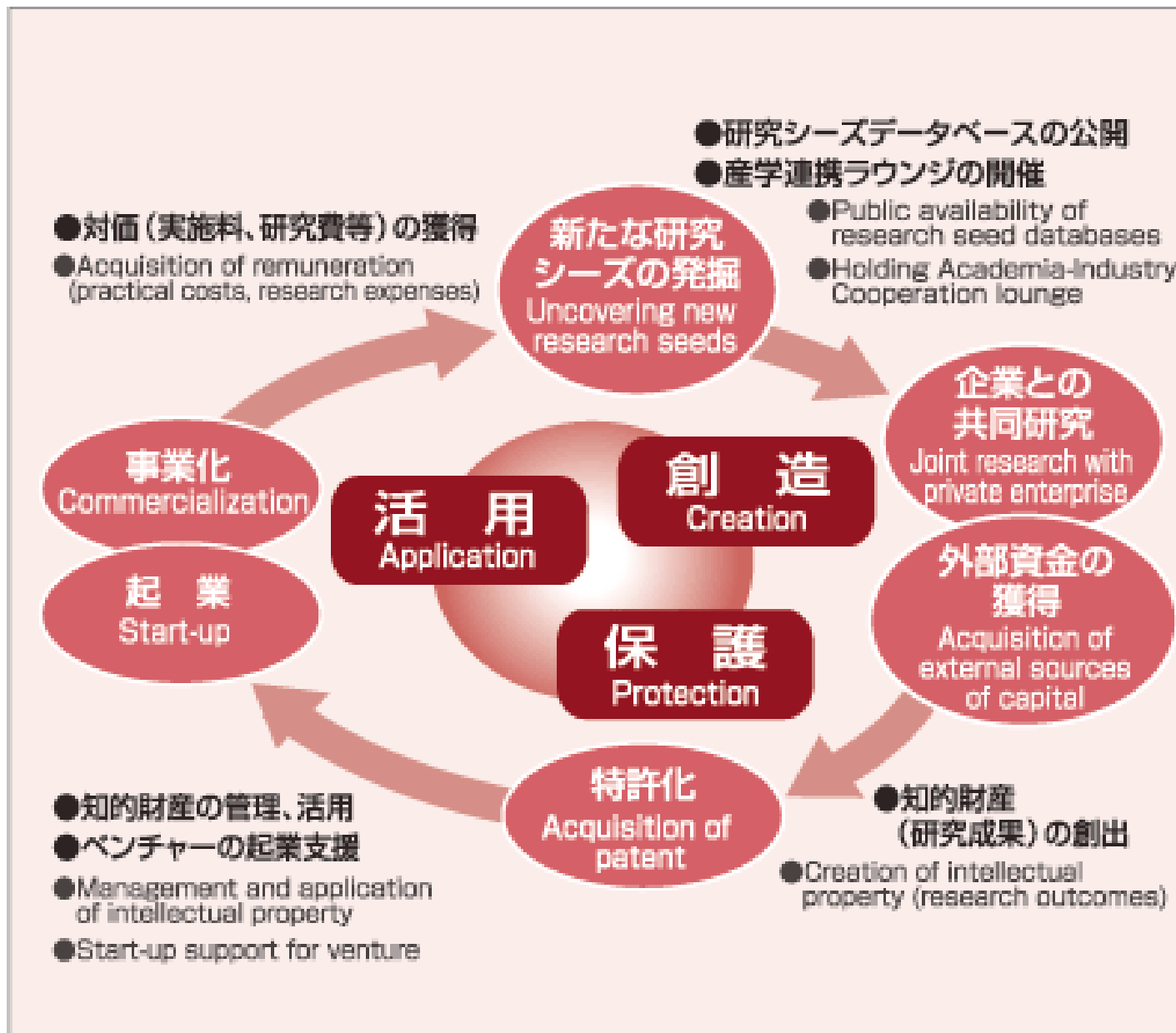
2005.4



横浜市立大学の目標



■ 知的財産のポジティブループ The positive loop of intellectual property



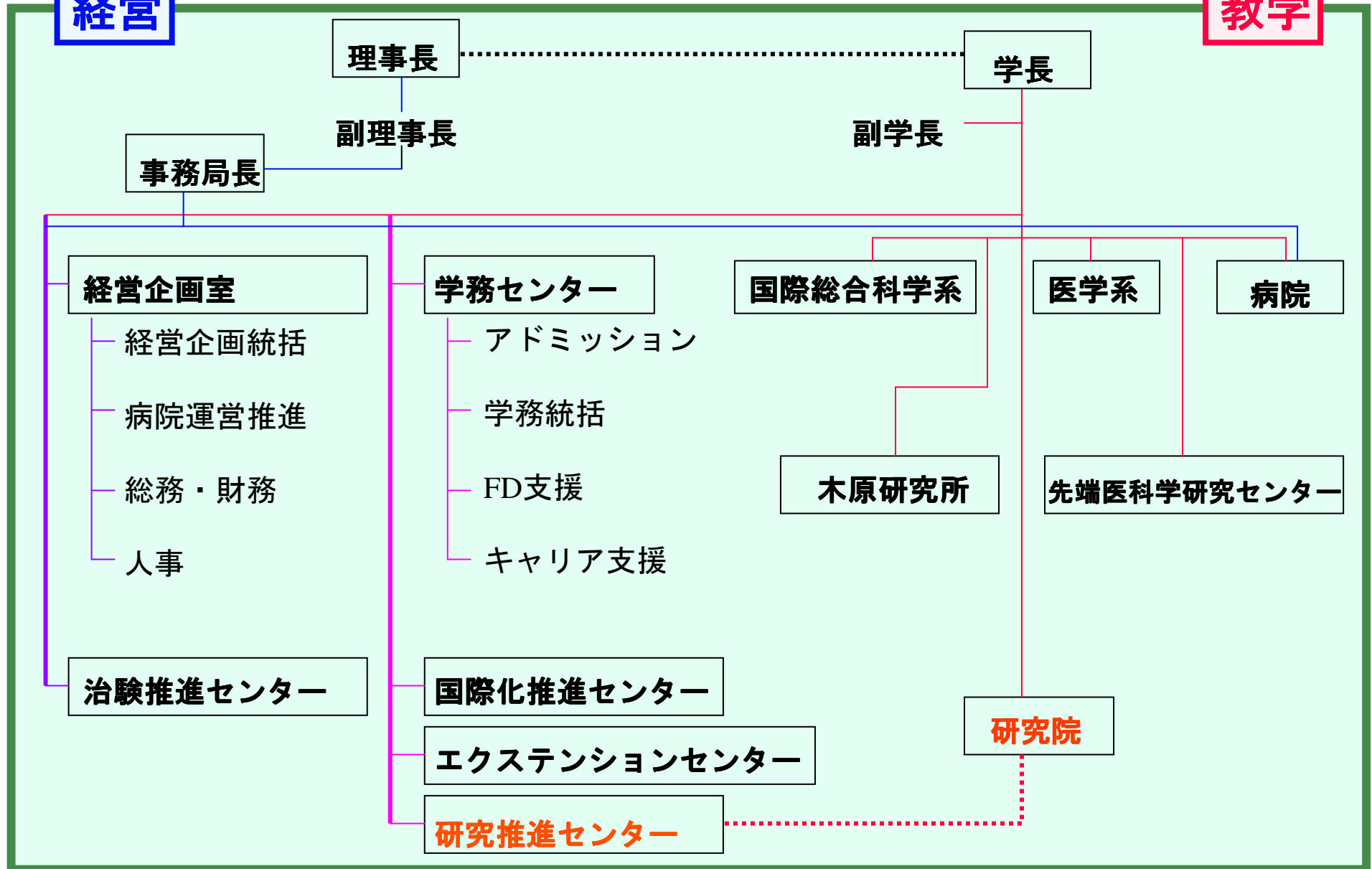
横浜市立大学における産学連携方針

1. 産学連携に関する包括的基本協定の締結と協定締結企業との具体的連携として共同研究やインターンシップ等の人的交流を活発化する。
2. 大学ホームページ等の広報を通じて研究者や研究内容などを分かり易く紹介する。
3. 学内・外の「産学共同研究センター」を活用して、民間企業等との共同研究を推進する。
4. 発明の創出・権利化および知的財産の管理・活用を積極的に図り、大学の基礎研究を社会に役立てるためのシステムを構築する。
5. 国際化を推進する。

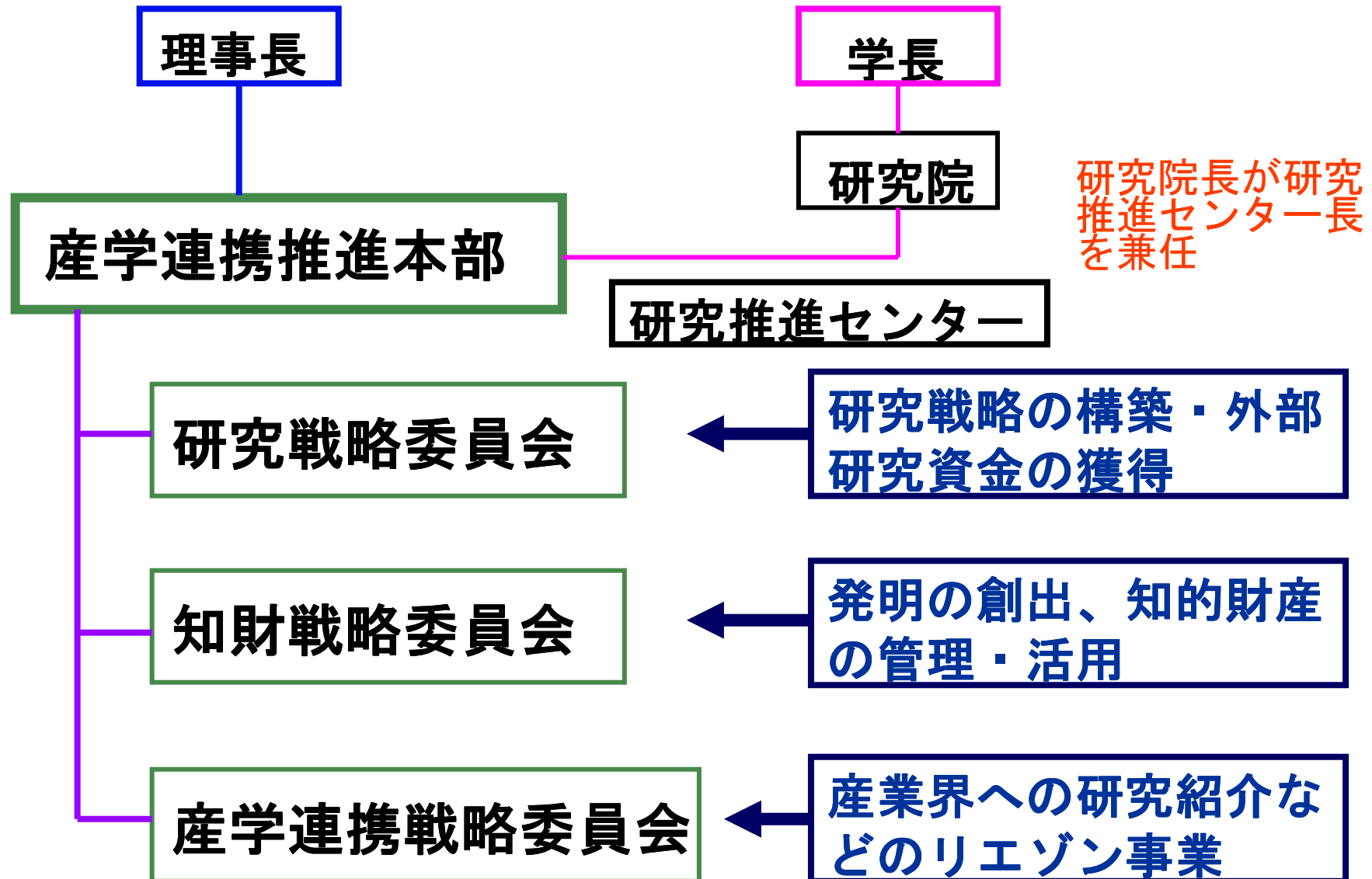
横浜市立大学の組織

経営

教学



産学連携に関する組織



横浜市立大学の研究分野

八景キャンパス

国際総合科学部
国際総合科学研究科

ナノテクノロジー
環境
産業・地域再生
文化・教育
都市経営・まちづくり

舞岡キャンパス

木原研究所

ゲノム科学
植物・動物

福浦キャンパス

医学部
医学研究科

先端医療
基礎・臨床

先端医科学
研究センター

附属病院・附属センター病院

鶴見キャンパス

国際総合科学研究科
生体超分子専攻

ライフサイエンス
構造生物学



YCUの産学連携分野の特徴

生命科学系に重点を置いている。

- ◆ 医学部では、臨床研究を重視している

FDA-CBERと連携

治験重視

先端医科学研究センターの設立

- ◆ 構造生物学・タンパクを重視

鶴見キャンパスでは、理研と連携大学院を形成してる。

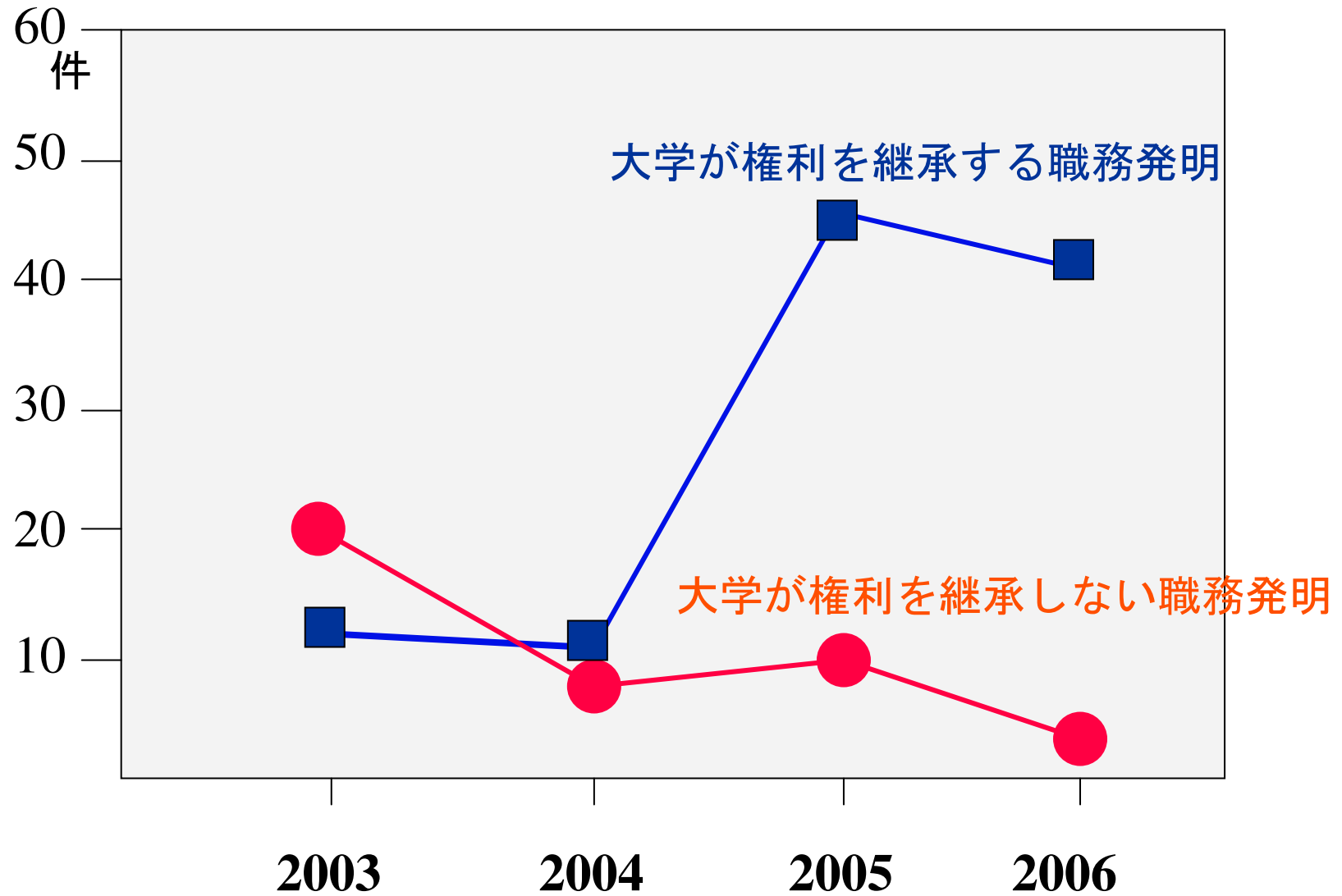
- ◆ 小麦の収集とゲノム解析

木原研究所では、小麦の収集が評価されており、理研植物部門と連携大学院を形成して植物ゲノム科学に特化して研究を進めている。

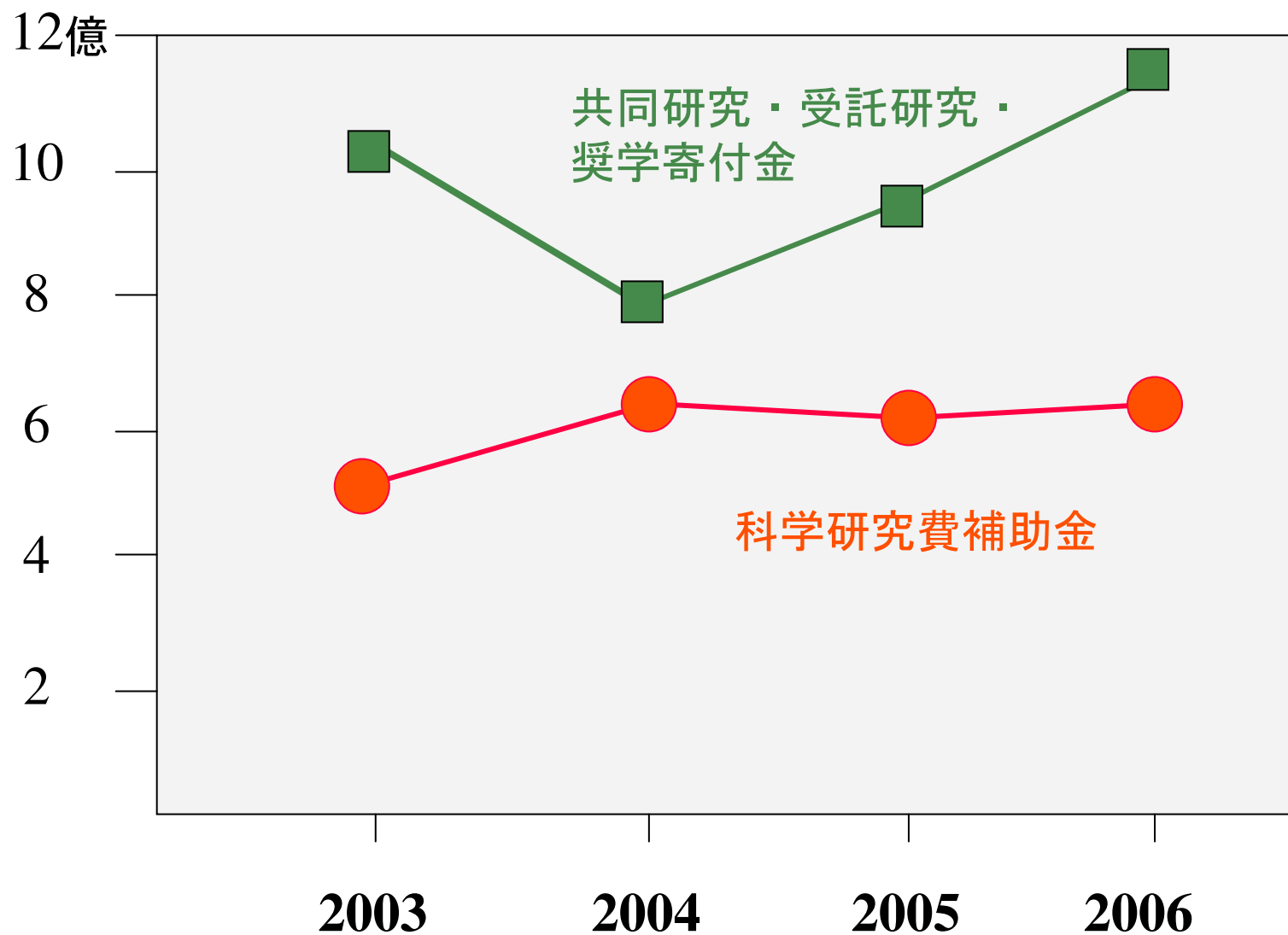
- ◆ 糖生物学 (Glycobiology)

八景キャンパスで行なわれている生命科学系研究では、糖生物学で特徴ある研究が行なわれている。

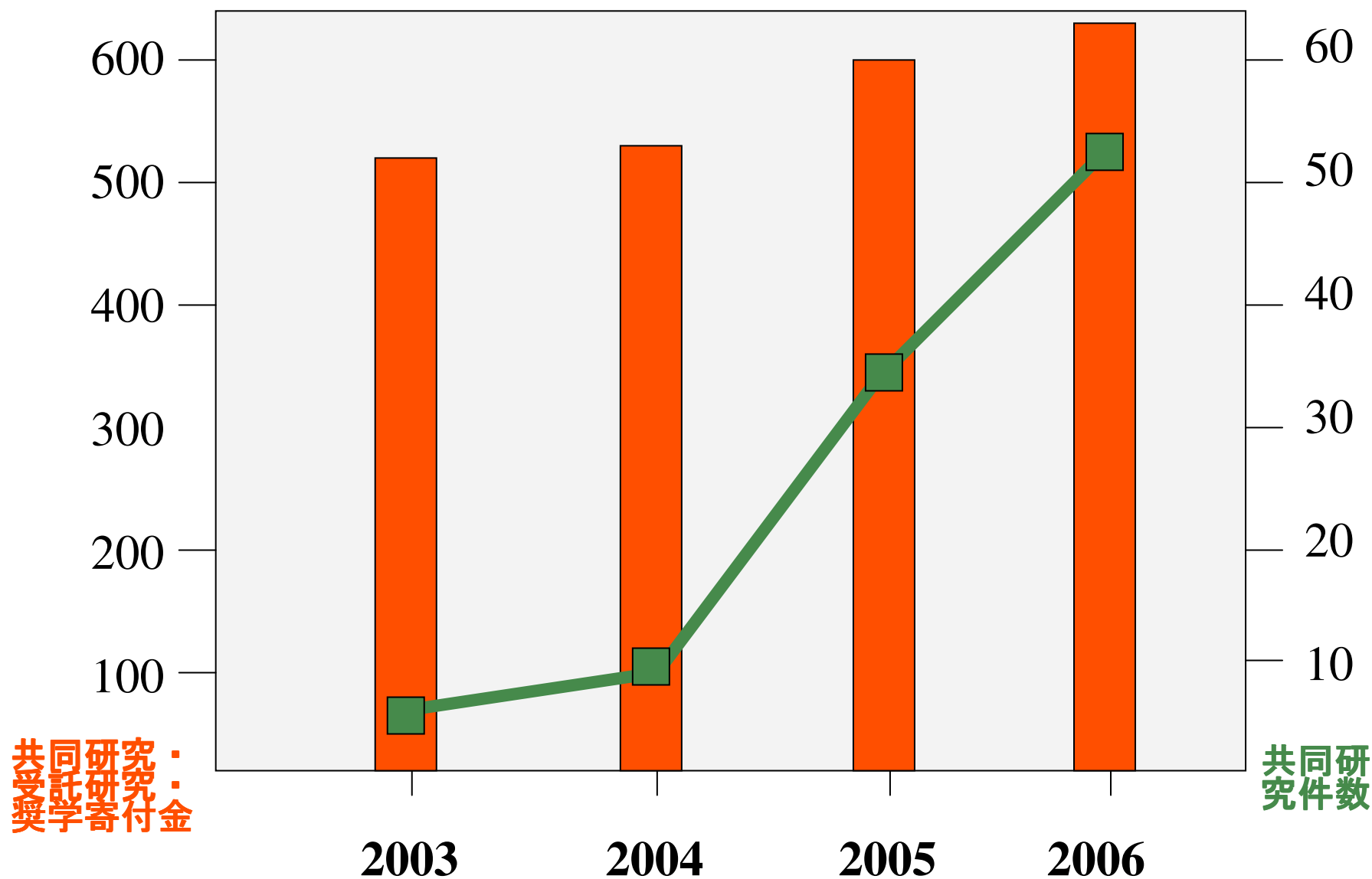
発明件数



研究費



受託研究等件数と共同研究件数



包括的基本協定・覚書

石川島播磨重工業

蛋白質構造解析コンソーシアム

横浜信用金庫

日本発条

理化学研究所横浜研究所

横浜国立大学

横浜銀行

放射線医学研究所

国際農業研究機関 (CIMMYT)

JICA 横浜国際センター

CBER-FDA, Center for Biologics Evaluation and Research,
United States Food and Drug Administration

国際産学連携に向けて

- 1、カリフォルニア・オフィスの開設
- 2、FDA-CBER との連携
- 3、CIMMYTやJICA横浜との連携
- 4、国際化推進—提携校の拡大

